



# カウニングだより

保育観察エッセイ④

**はったつがみえるよ!**

～ふんかのこどもたち～

キンダーカウンセラー  
園村 和代

♪ 幸いにも、私はキンダーカウンセラーとして、子ども達の中に入って一緒に遊ぶことができます。  
毎月1回の訪問で、触れ合う時間は限られていますが、頻度が少ない分、子ども達の成長を感じられることが多く、毎回生き生きとたくましく変わっていく姿がとっても楽しみです♪

1 学期の相談日は

4月27日(火)・5月11日(火)・6月8日(火)・7月13日(火)・8月26日(木)

の月一回火曜日です。(8月は夏休み中のため、木曜日となります)どなたでも、お気軽にお越し下さい。

子育て支援室「ふんかベビーカフェ」は、感染再拡大による「まん延防止等重点措置」のため、

5月4日までお休みしています。再開いたしましたら、またお知らせいたしますので、

乳児の子育て中のお母さん、お子さんと一緒に、ぜひあそびに来てくださいね!

お子様のご入園・ご進級おめでとうございます。新しい環境の中で、ドキドキワクワクしながら迎えた4月。草花が芽吹く季節と共に、子どもたちの新しい生活がはじまります。

私は令和2年度よりキンダーカウンセラーとして、園に訪問させていただいております園村和代と申します。普段は、民間の相談機関で大人の方のカウンセリングや就学前から高校生の保護者の方の子育て支援をしながら、兵庫県や大阪府の幼稚園で、キンダーカウンセラーとして訪問させていただいております。

昨年度は、コロナ禍の自粛生活の中、それぞれのご家庭でお子さんに向き合われる機会も多かったのではないかと思います。在宅の時間が長くなると、仕事や家事・子育ての境界線があいまいになり、気持ちを切り替える事が難しくなることがありますね。就寝時、布団に入る前に「その日にあった良い体験を味わいながら寝る」ことを毎日の習慣にしていくと、脳の心地よさを感じる部分が大きくなり、物事や体験したことに対するプラス面を感じる神経回路が増えていく、とされています。

子どもと心地良い関係性を育むために、子どものペースに寄り添う中で「気持ちをいったん受けとめて、理解したことを言葉で返す」というやりとりは、子どもが自分の本音に気づき、やる気を育てる上でとても大切だといわれています。

「なぜそんな乱暴なことしたの! あなたはだめだね」という人格を否定するような言葉と「あなたの活発で、好奇心の旺盛なところは、これからきっと生かされるよ!」と、視点を変えてかけた言葉は思考にインプットされますので、そのかけた言葉の積み重ねで、自己のイメージができあがっていくといわれています。脳は、エネルギーの節約のために、思考にインプットされた考え方で物事をとらえますので、かけた言葉の積み重ねが自分の信念となって性格が作られていくといわれています。寄り添う事というのは、ご両親にとり、とてもエネルギーの必要な事だと思いますが、物事や体験したことの「どこに焦点をあわせて言葉をかけていくのか」ということを、生活の中で少し意識していくことで、お子さんとの今後のやりとりにも良い変化が生まれてくるでしょう。

今年度も、月1回保護者の皆さまと、個別相談や園児さんとのあそびを通じて関わらせていただきます。大きな悩みでなくても、ちょっとしたことで話せる子育て相談のようにも思ってもらえたらよいと思います。お子様のことだけでなく、ごきょうだいやご家族のこと、ご自身のことなども相談にのらせていただいております。個別相談の秘密・情報は守られますので、安心して気軽にご相談ください。通常カウンセリングは1時間(無料)です。お待ちしておりますね。

キンダーカウンセラーとして、毎月1回、蛭池文化幼稚園を訪問しております臨床心理士の園村和代と申します。普段は民間の相談機関で就学前のお子さんと保護者の方の子育て支援をしながら、兵庫県や大阪府の幼稚園でキンダーカウンセラーをしております。保護者のみなさまが、お子さんとどう関わったらいいのかな? など子育ての悩みや、お友だち同士の関わりや園生活の心配などの相談にのらせていただいております。費用は園負担ですので無料です。また、園児の保護者以外の方も参加可能です。来園が難しい方には、出向いて相談を受けることも可能です。どんな些細なことでも「ちょっと聞いてみたいな〜」「こんなときどうしたらいいかしら」というときに、お気軽にお越しください。